

1 学校地域の概要

PTA 会長	吉 田 修
おやじの会会長	橋 本 正 之
校 長	松 村 祐 介
児 童 数	8 1 2 人
会 員 数	6 9 3 名 (保護者 6 4 2 教職員 5 1)
所 在 地	〒740-0022 岩国市山手町 1 丁目 7 番 4 1 号 TEL 0827-21-7111 FAX 0827-22-3242



(1) 校区等の概要

本校は、県東部における大規模の学校であり、岩国市の中心校でもある。校区には国道 2 号線等の交通量の多い道路が走り、大型のショッピングモールや繁華街も含まれる。

平成 29 年度の学校教育目標は「主体的に学び未来を切り拓く、たくましい『麻里布っ子』の育成」である。めざす児童像として「よく考える子」「やさしく親切な子」「元気な強い子」を掲げ、学ぶ意欲にあふれ、自ら考え進んで学ぶ子、人の立場を考えて行動できる思いやりのある子、基本的な生活習慣を身に付けた健康な子の育成に取り組んでいる。

平成 26 年度末からコミュニティ・スクールの指定を受け、安全ボランティアによる登下校の見守り、花壇ボランティア、毎週月曜日の花生け活動、夏休み学習会における学習支援等、学校・家庭・地域が連携して児童をよりよく育み、地域とともにある学校づくりをめざした取組が展開されている。



【室の木台から見た麻里布小学校】

(2) PTA 組織及び活動について

PTA 組織には、総務部、学年部、教養部、広報部、環境部、地域部があり、それぞれ委員が選出されている。各部の活動内容の概要を以下に示す。

◇総務部・・・PTA 会長、PTA 副会長、書記、監査、顧問で構成

PTA 活動全体の企画運営

◇学年部・・・担任の先生とのパイプ役

運動会の後片付けや学校大掃除、6 年生の餅つき大会の企画運営

◇教養部・・・図書整理、運動会におけるトイレの美化管理

◇広報部・・・年 3 回の PTA 新聞の発行

◇環境部・・・登下校時の安全配慮活動、夏休みの街頭パトロール

◇地域部・・・子ども会行事のお世話

※総務部以外の各部には、部長や副部長を置く。

また、委員以外の PTA 会員は、ベルマーク収集及び整理、夏休み大掃除、講演会参加、餅つき大会における支援、持久走大会支援のいずれかの学校支援活動に協力する「一家庭一活動」に参加している。

このように、すべての PTA 会員が教育活動を支えている仕組みは、本校の PTA 活動の特色であると言える。



【ベルマーク収集・整理】

さらに、PTA 会員の有志で組織・運営している「おやじの会」は、学校施設の修繕、児童の安全の見守り、運動会や餅つき大会の手伝い等、様々な場面において学校の教育活動を支援している。（本年度おやじの会登録者数 41 名）



【夏休みの街頭パトロール（左）・校門の錆落とし及び再塗装（右）】

3 研究テーマについて

親子のふれあいを深めながら、防災意識を高める PTA 活動

台風、ゲリラ豪雨、地震等、自然の脅威は突然襲いかかってくる。そのような脅威に対し、児童が自らの安全を守ることができる力、すなわち「防災対応能力」を身に付けさせることが大切である。

この力の育成に向け、学校では、様々な場を想定した避難訓練や危険予測学習等に意図的、計画的に取り組んできている。保護者にも、緊急時における児童引き渡し訓練への参加協力を呼びかけたところ、90%を超える参加者があり、防災意識が高まっている気運も実感している。

また、平成28年4月に起きた熊本地震の様子は、テレビ等を通して、児童や保護者の記憶にも新しく、車中や避難先で寝起きしなければならない状況の過酷さについても、ある程度は理解しているものとする。

このような状況の中、体験活動を通して親子で防災について学ぶ機会を設けることは、児童や保護者の防災意識をさらに高め、より確かな防災対応能力の獲得に繋がるものと考え、本テーマを設定することにした。

4 活動内容

昨年度、おやじの会からの「夏休みに親子でキャンプがしたい」という申し出を受け、おやじの会会長、PTA 会長及び副会長、校長、教頭で話し合った。この話し合いを通して、熊本地震を対岸の火事にせず、本校の児童や保護者が防災に対して関心を高める契機となるよう防災キャンプを実施することになった。

そして、本テーマである「親子のふれあいを深めながら、防災意識を高めること」をめざし、本年度も引き続き「夏休み親子防災キャンプ」を実施することにした。

(1) 実施までの流れ

- ◇右に示した参加者募集のお知らせを、全保護者に配付（6月28日）
- ◇参加者（保護者）を対象とした事前説明会の開催（7月10日）
 - ・持参物や食物アレルギーの有無の確認
- ◇前日準備（8月18日）
 - ・市役所から必要物品の貸し受け
- ◇親子防災キャンプ実施（8月19日～20日）

平成29年6月28日

保護者の皆様へ
麻里布小学校おやじの会
会長 橋本 正之

2017麻里布小学校夏休み防災キャンプ参加申込について

自費の親、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素から、おやじの会の活動に、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。さて、おやじの会では、今年度も夏休みに、下記の要項で防災キャンプを開催します。つきましては、参加を希望される方は、参加申込書に必要事項をご記入の上、7月6日（木）までに担任にご提出いただきますようお願いいたします。

記

- 1 目的 親子や友達とのふれあいを深めるとともに、防災に対する関心を高める。
- 2 日時 平成29年8月19日（土）14:00～8月20日（日）7:30（雨天決行）
- 3 参加者 麻里布小学校児童及びその保護者
※1～4年生児童は保護者同伴による参加とし、5、6年生は、児童のみの参加でも可とします。
- 4 参加費 一人500円（食料代・保険代等）
- 5 持参物 お米（一人1合）・洗面用具・タオル・タオルケット（就寝時に使用）
使い捨て用スプーン・カレー用紙皿・水筒（ホースでの水汲み時に着用）
・替えの服・帽子・水筒・虫除けスプレー・スティックのり・はさみ等
- 6 主な内容 ◇夕食準備（非常災害時におけるお米の炊き方体験）
◇和食作り ◇天体観測 ◇KYT（危険予測学習） ◇テント泊
- 7 その他 ◇8月20日（日）には、学校大掃除があります。
◇7月10日（月）18:30から参加者の保護者を対象とした事前説明会を麻里布小学校コミュニティ（第1校舎1階）で行います。
◇未就学児童の参加は、ご遠慮ください。
◇「宿泊はしない」等、一部参加できない活動がある場合は、参加申込書の要項欄にその旨をお書きください。
◇ご不明な点がありましたら090-7120-7401（橋本正徳）までご連絡ください。

----- 切り取り -----
2017麻里布小学校夏休み防災キャンプ参加申込書

児童	年 組	お名前
	年 組	お名前
	年 組	お名前
保護者		お名前 印

緊急時連絡先電話番号

◎以下の質問にお答えください。
 ◆7月10日（月）18時30分から行われる事前説明会に参加することが（できる ・ できない）
 ◆ご家族で就寝できるテントをお持ちの方で、当日持ってくるのが（できる ・ できない）

ご希望・ご質問等

(2) 活動の実際

①事前説明会〔7月10日(月) 18:30~19:20〕

今年度、防災キャンプに申込みをしたのは、児童45名、保護者16名の計61名であった。事前説明会には、約20名の保護者が参加し、おやじの会会長の説明を聞いた後、不明な点についての質疑応答がなされた。



③前日準備〔8月18日(金) 15:00~16:30〕

市の水道局より、給水バッグを10袋提供していただき、事前にその使用方法についての講習を受けた。

また、市の危機管理課から、災害用移動炊飯器を2セット借りた。



③親子防災キャンプ〔8月19日（土）13:30～20日（日）11:00〕

両日のタイムスケジュールを以下に示す。

2017麻里布小学校おやじの会主催「防災キャンプ」タイムスケジュール		
8/19(土)	「児童・保護者」	「おやじの会」
13:30		集合(打合せ・準備)
14:00	集合・開会式	受付
14:30	和風づくり(講堂or工作室)	和風づくり(講堂or工作室)
15:00	↓	↓
15:30	↓	受付・おくど準備
16:00	↓	夕食準備(カレー作り、湯沸かし等)
16:30	給水体験	夕食準備・給水実演&補助
17:00	簡易炊飯体験	夕食準備
17:30	テント設営	↓(テント設営)
18:00		↓
18:30	夕食(カレー)	夕食・片付け
19:00		片付け
19:30	防災のお話[危険予測学習](講堂)	片付け
20:00	※A班:天体観測→水浴び(水着) B班:水浴び(水着)→天体観測	天体観測補助・水浴び補助
20:30		
21:00	就寝準備	就寝準備(ランタン設置等)
21:30	就寝(テント)	↓
22:00		見回り
22:30		↓
23:00		見回り
※A班・・・1, 2, 3, 4班 B班・・・5, 6, 7, 8班 班編制は別紙参照		
8/20(日)	「児童・保護者」	「おやじの会」
5:30		起床・荷物の片付け
6:00	起床・荷物の片付け	朝食準備(パン・牛乳)
6:30	朝食	朝食
7:00	テントの片付け	テントの片付け・側溝のふた上げ
8:00	大掃除	大掃除
9:00	↓	側溝のふたの復旧
10:30	凧あげ	凧あげ
11:00	閉会式	閉会式

前掲のタイムスケジュールの中から、防災キャンプに関連した内容を取り上げ、活動の実際を説明していく。

◆給水体験

市の水道局職員から給水バッグの取扱説明を受けたおやじの会会長が、防災キャンプ参加者に使い方の説明をした。その後、グループに分かれて給水バッグに水を入れ、手洗い体験をした。普段は何気なく使っている水の大切さを児童は改めて実感したようであった。



◆簡易炊飯体験

おやじの会会員や防災キャンプ参加の保護者がカレーを作る間に、児童は、簡易炊飯袋（市の危機管理課から100枚寄贈）に米1合と水180ccを入れ、輪ゴムで止めた。これを大釜で30分程度茹でると、袋中にご飯が見事に炊き上がり、参加者一同驚いていた。簡易炊飯袋の代替として、レジ袋等も使用できるらしい。カレーも大変おいしかったが、避難生活における苦労を偲ぶ声や、日頃からの備えの必要性を実感した声などが参加者から聞こえてきた。





◆テント設営

岩国市立東小学校からテントを21張り借り受け、事前に組み立てを体験していたおやじの会会員が、組み立て方を説明した。4年生までの児童は保護者と、5年生以上の児童は、児童同士で協力してテントを設営した。約1時間後、借り受けた21張りと、保護者が持参したテント2張りを合わせた、計23張りが無事設営された。夜は暑苦しく、なかなか寝付けない児童もいたが、やがてどのテントからも寝息が聞こえてきた。



◆防災のお話

市の危機管理課職員を講師として招聘し、防災に関するお話をしていただいた。児童にとっては多少難しい内容もあったが、給水体験や簡易炊飯体験、テント設営等、様々な体験を経た後であったためか、どの児童も最後まで真剣に聞いていた。



5 成果と課題

本年度も昨年度とほぼ同数の参加者で「夏休み親子防災キャンプ」を行うことができた。参加者の中には、昨年度に引き続いて参加してくださった方々もいて、防災に対する関心の高まりを感じた。また、防災キャンプを行うに当たり、本年度も地域の自治体連合会から、野菜等の食材を快く供出していただいたり、水道局や市の危機管理課の協力をいただいたりすることができた。このように学校・家庭・地域が一体となり、よりよい麻里布っ子を育成し、麻里布地区を盛り上げていこうとする気運の高まりを、今後も大切にしていきたい。

ところで、昨年度の活動内容と大きく変えた点は、宿泊方法である。昨年度は体育館に段ボールを敷いて寝泊まりしたが、今年度はテント泊を試みた。災害で避難生活を余儀なくされた場合に、実際にやらざるを得ないことを事前に体験しておくことは、組織や個々人の防災対応能力の向上に繋がるものとする。そのためにも、今後は以下の点について検討を重ね、工夫していく。



- ・給水車の申請（平日であれば、要請に応じてもらえる）
- ・テントの備蓄（東小学校のように数年間かけてテントを備蓄できるよう予算化する）
- ・災害時の連絡の取り方や役割分担等について、親子でシミュレーションする活動
- ・おやじの会会員の増員

今後も「親子防災キャンプ」の需要は、有り続けると考える。いざというときに本キャンプでの経験が生きて働く力となるようにしていきたい。